

第1681回 2015.4.21

2014-2015

LIGHT UP ROTARY

半田南ロータリークラブ

●創立: 1980.2.12 ●認証: 1980.2.25

■会長／榎原 肇 ■幹事／岩部 雅人 ■例会／毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546



- 司会 S. A. A 杉浦 豊幸君
- ソングリーダー 杉浦 豊幸君
- ロータリーソング 「それでおこロータリー」
- 今月の歌 「四季の歌」
- ピアノ 中田美由紀さん
- ゲスト NPO法人 半六コラボ 杉浦 明巳様
阿部 麻子様
- ビジター 加藤 知成君 (東知多RC)

会長挨拶



先週の土曜日4月18日、中埜半六家の庭園「半六庭園」が新たに開園しオープニングイベントが開催されました。半六邸は、明治22年に建てられた半田の豪商、中埜半六家の本宅です。半田運河沿いの、900坪におよぶ敷地には、母屋、離れ、職人小屋、茶室、蔵など、当時の富豪の暮らしぶりが伺える建物群が現存しています。2009年に半田市が取得し、「母屋解体、公園整備」と新聞報道され、それに反対する多くの署名が集められ、半田市は取り壊しを留保しました。2012年、半六コラボが主な建物を耐震改修して活用する計画を提案したこと、市は方針を転換し、半六コラボと協力して整備計画を進めることとなり、手始めとして庭園の整備を行いました。本日は杉浦明巳さんをお招きして半六コラボの活動についてお話を伺います。

4月12日は、ジョナス・ソーカ博士が1955年にポリオワクチンを開発してから60周年という記念すべき日でした。安全で効果的であるとして今日に至るまで利用されているこのワクチンが大きな後押しとなり、この60年の間に世界におけるポリオ発生数は99%減少しています。現在、常住国は3カ国（アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン）を残すのみとなり、ポリオという恐ろしい病が世界からなくなる日まで、本当に「あと少し」のところまで来ています。

ソーカ博士による不活化ワクチンは、世界的なポリオ

撲滅活動の進展に欠かせないものですが、このワクチンが広く利用される以前は、米国だけでも年間35,000人がポリオに感染していました。ワクチン導入から2年後の1957年には発生数が90%減少、1979年には米国でのポリオ撲滅が達成されました。

しかし、世界規模でこのワクチンの効果が表れるまでは時間がかかりました。世界規模でのポリオ撲滅への取り組みとして、ロータリーが世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センターとともに「世界ポリオ撲滅推進活動」を開始した1988年、実に125カ国でポリオが子どもたちの健康を脅かしていたのです。それから四半世紀を経た現在、常住国は3カ国となり、ナイジェリアでは現在、ポリオの無発生が8ヶ月継続しており、アフリカ大陸でのポリオ撲滅が目前に迫っています。

ロータリーニュース10-Apr-2015 より
中埜半六邸の建物も後世に残せるよう、着実な運動に繋がっていくように願っています。

委員会報告

●出席委員会

第1681回例会 4月21日(火) 天気(晴)

本日の例会は30名の出席にて、出席率は85.71%です。なお、前々回は3名のメーフィヤップにて97.06%に訂正します。

●Smiling Box

新美 茂君 久しぶりの青空です。

石川 勝彦君 JR西日本脱線事故から丸10年、「科学は進歩したが人間は進歩していない。」改めて実感しています。残念!。

早退します。 近藤 敏通君

合計3名 5,000円



ロータリー財団寄付 ベネファクター
都築 利全君



スピーカー NPO法人 半六コラボ
代表 杉浦 明巳様
演題 「半六プロジェクト」について

HANROKU COLLABO NEWS

平成27年4月~平成27年8月(第7号)

【ご案内】半六プロジェクト 寄附出資募集説明会
~未来に残したい半田の景観がある~

半田運河界隈には、緑道と運河で造られた半田の象徴である風景が残っています。半六邸はその中でも重要な位置を占め、景観を形作っています。私たちはふるさとの歴史を未来に伝えるために、半六邸の保護と保存を行っていきます。

NPO法人半六コラボと半田歴史まちづくり組は共同して半六邸の改修を行なった。寄附と出資を募っています。

説明会を下記のように、月に一度行なっていますので、お気軽においでください。

場所: アイプラザはんだ 会議室
4月29日(日) 14:00~15:00
5月17日(日) 10:00~11:00
6月21日(日) 10:00~11:00
7月 12日(日) 20:00~21:00
8月 23日(日) 10:00~11:00

4月18日(土)・19日(日)
半六庭園オープニング
18日半六庭園オープニングの様子

年末から始まった半田の半六庭園が完成し、4月18日からオープンしました。
母屋はまだ改修中で、秋がりニールオーブンの予定です。
それで庭園の方は、土・日曜日のみ、公園となります。

4月19日(日) 10:00~11:00 小川の音と木の香りのアロマセラピーセミナー
半田の歴史と景観を多く人が知りました。半田の歴史でも、いかにもユーモアや半田運河の名のPRブース、コンサートなどの行事も行なわれました。半田の街はとても元氣になりました。
母屋や生ビールを販売しました。おとうる工房いしかわも出店し、きらす舟の詰め放題や、豆腐ドーナツの詰め放題、アヒ入り手洗絆を販売しました。



HANROKU PROJECT 半六プロジェクト

解釈を用意に残し、穏かに流れる半田運河。
運河沿いには、江戸から明治にかけて繁栄した半田の豪商の邸宅が並んでいた。
中堅半六邸もそのひとつ。古いないない住まいは、あつという間に朽ちていく。
歴史ある佇まいがまちから消えていくのは忍びない。
多様な人たちの知恵と力を合わせて、半田の姿を復活させよう…。
まちの宝を遺して、活かす。

NPO法人半六コラボが生まれ、半六邸の再建に取り組むことになりました。



NPO法人半六コラボ理事長 杉浦明巳 挨拶

早いもので、半六邸の取り壇に持ったをかける署名活動から5年の月日が流れました。このパンフレットの表紙にある「半六プロジェクト」には、半六邸を遺して活かすために、私たちが半田市に提案してきた活動計画の名称です。最後矢先頃だった耐震補強の目次が立つてからは、実現できると信じて、何度も市に「半六プロジェクト」を提出し続け、その想いとなるべくNPOを立ち上げたのです。

平成24年夏に、取り壇し體験の新聞発表があり、その後は活用に向け、たくさんの人から理解と協力が得られるよう、ワークショップや講演会などを開催しました。この間、戸惑いながら往生することもありましたが、多くの方の熱い想いや助言の力で支えなり、あきらめず今日までやってくることができました。ここに深く感謝いたします。同時に、今後も半田市と連携して、皆さまから半六邸が残ってよかったと言えていただけるよう、全力で取り組んでいく所存です。半六邸を市民の方で再建し、古民家活用のビジネスモデルにできればと願っております。どうぞ、皆さまのご支援を賜りますよう。よろしくお願ひ申し上げます。



半六邸所在地：愛知県半田市中町1-7
賛助会員・・・年会費3,000円
会員登録料・年会費・年会費込み料・・・T・F 0569-29-4315
<http://hanroku-collabo.org>に入会フォームあります

NPO法人 半六コラボ
HANROKU COLLABO
<http://hanroku-collabo.org>

~まちの宝、半六邸を遺して活かす~
半六プロジェクトをご支援ください！

NPO法人半六コラボは、新たなNPO法人のもと、2014年12月5日付けで仮認定NPO法人となりました。
今後、皆様からいただくご寄附は「寄附金控除の対象」となります。控除を申請される際には、半六コラボが発行する寄附金受領証明書が必要です。

寄附という応援のかたち

個人が認定(仮認定)NPO法人に寄附した場合の税制上の優遇措置

認定(仮認定)NPO法人とは、NPO法に定める基準に基づき、所得税の寄附金控除等の対象となるNPO法人として所轄庁が認定(仮認定)したNPO法人です。

国税と地方税あわせて、寄附金額の最大50%弱が税額から控除されます。

★所得税額の控除額=(寄附金額×2,000円)×40%

★住民税額の控除額=(寄附金額×2,000円)×10%

【個人が認定(仮認定)NPO法人に1万円寄附した場合の税額控除】

*寄附金控除を受けるためには、確定申告を行う必要があります。



次の例会

第1683回例会 ロータリー情報
5月12日(火) 於 半田商工会議所